

(数学Ⅱ) 学習指導案

日時	平成22年 5月28日(金) 第2限			指導者	
学級	3年 機械科			教室	201教室
単元	第11章 数 列			教科書	平成22年度数学就職問題集(愛媛県高等学校教育研究会数学部会編集)
単元目標	数列の意味を理解し、数列の規則性を見つけ、一般項を求めることができる。 いろいろな数列の規則性をもとに、和を求めることができる。	指導計画	いろいろな数列と一般項 ・・・・1時間(本時) 数列の和 ・・・・2時間 応用問題 ・・・・2時間		
本時の指導過程	主題	数列の基本	前時の課題	p.72の11.の問題を解いてくる。 p.52の問題を解いてくる。	
	目標	数列の意味を理解し、数列の規則性を見つけることができる。 等差数列の意味を理解する。	関心を持たせる工夫	生徒による問題説明の工夫を見る。 身近な数列を考える。	
	学 習 活 動		時間(分)	指導上の留意点	評価の方法・規準等
導入	板書した課題を生徒が説明する。		10分	・発表者に注目させる。	・発表は丁寧にできているか。発表者に注目しているか。(関心・意欲・態度)
展開	1	数列の意味を説明する。	3分	・客観的な規則が必要であることを確認させる。	・客観性の意味が理解できているか。(知識・理解)
	2	問題の解説をする。	5分	・どのような規則の列かを確認させる。	・どのような規則かを理解できているか。(関心・意欲・態度)
	3	等差数列について説明をする。	7分	・基本用語を理解させる。	・しっかり注目できているか。(関心・意欲・態度)
	4	課題の問題を利用し実際に第10項、第20項、第50項、第100項と順に考える。	15分	・机間指導で、生徒の理解状況を確認し、解答を発表させる。	・自力で問題が解けているか。(知識・理解) ・説明を十分理解し間違っていないか。(表現・処理)
	5	一般項について説明する。	5分	・数え上げでは合理的でないことを理解させ、一般項の必要性を理解させる。	・生徒の考え方・理解力を高める。(数学的な考え方)
整理	1 本時のまとめをする。 2 課題を出す。 (p.53 3. p.64 27. p.70 9.)	5分	・本時のまとめと課題を確認させる。	・次時の目標を理解し、課題に取り組んでいるか。(関心・意欲・態度)	
備考	生徒数 33名(男子33名 女子0名)				